

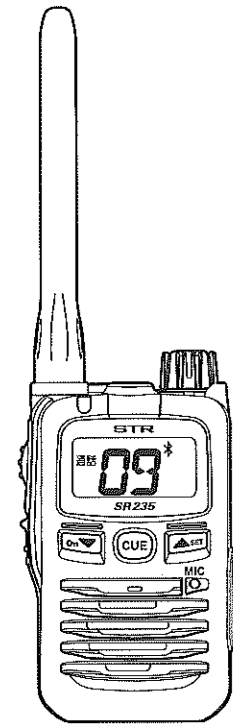
STR 業務用通信機

Superior Technology Radio

特定小電力トランシーバー

SR235 Bluetooth®

取扱説明書



- 免許・資格不要
- 総務省技術基準適合品
- 堅牢 MIL スペック
MIL-STD-810H 準拠
- 防塵・防水構造 (IP68)
- 47チャンネル
交互通話用: 20チャンネル
中継通話用: 27チャンネル

お買い上げいただき、ありがとうございます。正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

- ・このトランシーバーは国内専用モデルです。海外では使用できません。
- ・本体背面に貼ってある“証明ラベル”を剥がしたり、分解や改造を行うことは法律で禁止されています。
- ・他人の会話を聞いて、会話の内容を漏らしたり窃取することは法律で禁止されています。

2107K-BC



付属品

- トランシーバー本体
- ベルトクリップ (取付け用ネジも含む)
- チャージャースタンド ○ ACアダプタ ○ 充電用USBケーブル
- 取扱説明書 (本書) ○ 保証書

防水性能について

本機は、IEC国際規格IP68相当 (防塵等級6^{※1}、防水等級8^{※2})の防塵、防水性能を有しています。この性能を永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

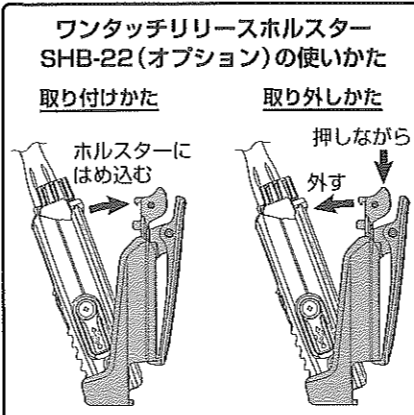
- ボタンのラバー、SP/MIC端子およびUSB端子のラバーなどに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。
- 海水砂泥などが付いた時は、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄を行ったりしないでください。
- 本機は、水中での使用はできません。

※1: 粉塵が内部に侵入しない。
※2: 水深1.5mに30分間没しても有害な影響を受けないこと。

正しくご使用いただくために

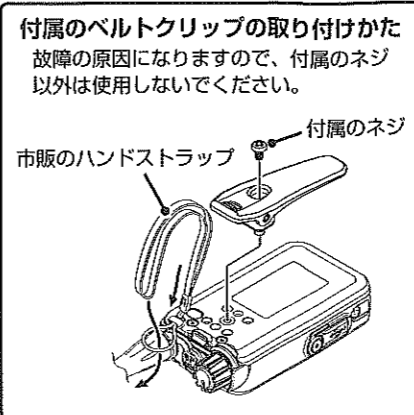
- 本機にヘッドセットやマイクロホンなどを接続する際は、必ず当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。
- 当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。
- オプションの取り付け/取り外しは、必ずトランシーバーの電源をOFFにしてから行ってください。
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください。
- トランシーバーを分解・改造することは電波法で禁じられています。
- 周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。
- 磁気カードなどを本機 (特にスピーカーの部分) に近づけないでください。磁気カードの内容が消去される場合があります。
- トランシーバー内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

ファンタチリリースホルスター SHB-22 (オプション) の使いかた

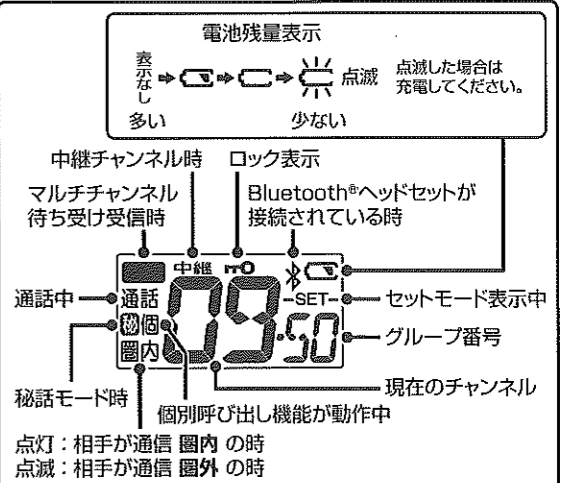
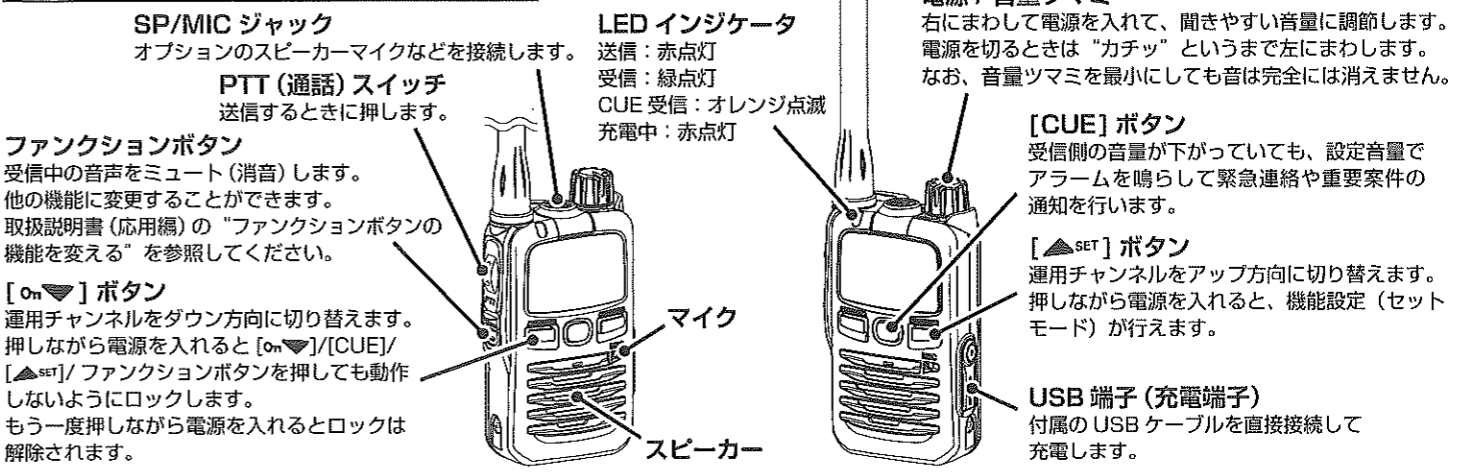


“SP/MICジャック”と“USB端子”を使用しない時は本機の防塵・防水性能を保つため、ラバーキャップをしっかりと取り付けてください。

各部の説明



市販のハンドストラップ



電源 / 音量ツマミ
右にまわして電源を入れて、聞きやすい音量に調節します。電源を切るときは“カチッ”というまで左にまわします。なお、音量ツマミを最小にしても音は完全に消えません。

[CUE] ボタン
受信側の音量が下がっていても、設定音量でアラームを鳴らして緊急連絡や重要案件の通知を行います。

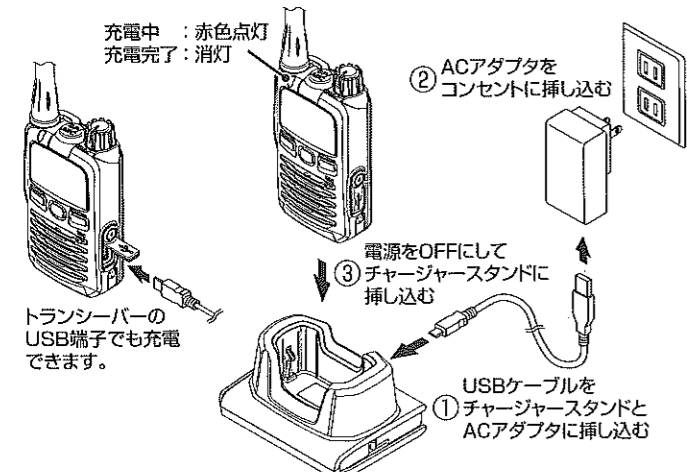
[▲SET] ボタン
運用チャンネルをアップ方向に切り替えます。押しながら電源を入れると、機能設定 (セットモード) が行えます。

USB端子 (充電端子)
付属のUSBケーブルを直接接続して充電します。

充電のしかた (充電時間は約3時間)

付属のチャージャースタンド、USBケーブル、ACアダプタで充電します。

- ・トランシーバーの電源は必ず“OFF”にして充電してください。
- ・電池の発熱、性能や寿命の低下、正しく充電できないなどの原因になりますので、充電は+5℃~+35℃の温度範囲で行ってください。
- ・充電時間は、電池の残容量や充電環境 (温度など)、内蔵電池の劣化度などにより異なります。
- ・付属のACアダプタ以外で充電する場合は、電圧5V、出力電流900mA以上の機器に接続してください。

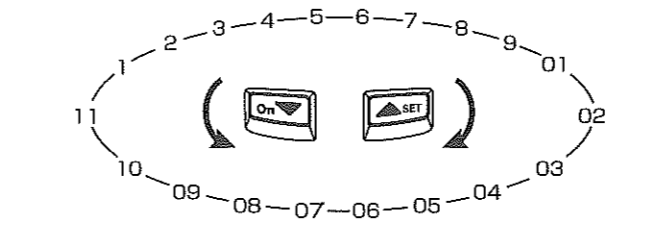


本機は、満充電の状態でも約45時間[※]使用することができます。電池の残量は画面にアイコンで表示されます。“各部の説明”の“電池残量表示”を参照してください。
※送信6秒、受信6秒、待ち受け48秒、LEDインジケータ設定“OFF”、スーパーバッテリーセーブ機能“ON”での測定条件です。使用時間は目安です。実際に使用できる時間は、使いかたや使用環境、内蔵電池の劣化度などによって異なります。

基本的な通話のしかた (ノーマルモード)

- ① 電源を入れる
電源 / 音量ツマミをまわして電源を入れて、聞きやすい音量に調節します。なお、音量ツマミを最小にしても音は完全に消えません。
- ② チャンネルをあわせる
[On] または [▲SET] ボタンを押して相手と同じチャンネルにします。
- ③ 押しながら話す
通話 (PTT) スイッチを押しながらマイクに向かって話します。
・LEDインジケータが赤色で点灯し、画面に“通話”が表示されます。
・通話 (PTT) スイッチを放すと、相手の話を聞くことができます。
・信号を受信するとLEDインジケータが緑色に点灯します。
- ④ 電源を切る
電源 / 音量ツマミを“カチッ”というまで左にまわします。

○ [On] または [▲SET] ボタンを押すと、チャンネルは下図のように変わります。チャンネル番号の表示を「01~20」の連続した番号表示にすることができます。詳しくは裏面の“チャンネル番号の表示を変える”を参照してください。



- 3分間連続して送信し続けると送信は自動的に停止します。送信が停止する30秒前になると、画面に数字でカウントダウン表示され、送信が停止する10秒前には、「ビピッ」と警告音が鳴ります。なお、送信が停止した場合、その後の2秒間は通話 (PTT) スイッチを押しても警告音が鳴り送信できません。
- 相手の信号を受信している時は送信できません。LEDインジケータが緑色に点灯している時は、通話 (PTT) スイッチを押しても「ブーッ」と警告音が鳴り、送信できません。

[On] [▲SET] ボタンを押してもチャンネルが変わらないようにする

[On] や [▲SET] ボタンが何かにぶつかり、チャンネルが変わってしまうトラブルを防ぐことができます。

- ① 一度電源を切る
電源 / 音量ツマミを“カチッ”というまで左にまわします。
- ② [On] ボタンを押しながら電源を入れる
“no”マークが表示され [On] / [CUE] / [▲SET] / ファンクションボタンがロックされます。
- ③ ロックを解除する
もう一度電源を切り [On] ボタンを押しながら電源を入れると、ロックは解除されます。

補足 “no”マークが表示されている時に [On] と [▲SET] ボタンを同時に押すと、チャンネル表示が“LOCK”の表示になります。もう一度同じ操作をすると、チャンネル表示に戻ります。



